

TOP MESSAGE

スポーツを一番に考え、実践し、
その知見を製品やサービスに具現化する。
私たちは企業活動を通して、
健やかな社会の実現を目指してまいります。

いよいよ4年後の2020年、オリンピック・パラリンピックが東京で開催されるにあたり、東京だけでなく、日本全体が大きく動いています。それは、スポーツのことをさらに好きになり、世界を身近に感じるようになる貴重な機会。スポーツの社会的責任は、これからますます重要なものになってくると私は考えます。そして、同じ年にゴールドウインは創立70周年を迎えることとなります。振り返ってみますと、ゴールドウインという社名は、古代オリンピック発祥の地ギリシャで勝利者を「ゴールド・ウイナー」と呼んだことに由来しており、前回の東京オリンピックの前年の1963年に、この社名となりました。実際、1964年の大

会では、日本選手が獲得した16個の金メダルのうち、12個がゴールドウインのウェアを着用していた選手たちでした。そして今では、その意味に留まらず、スポーツを楽しむひとりひとりを眩しく美しく輝かせたいという想いを、私たちの社名に込めています。いつも志と挑戦を抱いて、前進を続けること。スポーツを通して次世代を担う人材を育成すること。障がい者スポーツへの支援を通して、スポーツの可能性を追求すること。地域とスポーツとの関わりを考え、人々の健やかで楽しい暮らしを提案すること。その根底には、何よりもスポーツを一番に考え、心から愛し、自ら実践し、スポーツのチカラを信じる「SPORTS

FIRST:スポーツ・ファースト」という私たちの想いがあります。その想いを、ひとつひとつの製品やサービスに具現化していくことこそ、ものづくりの企業としての使命であると考えます。それは、美意識や生き方のようなものであるのかもしれませんが。これからも志と挑戦を大切にしながら、私たちは企業活動を通して、人々の明るく元気で前向きな生き方と、その先にある健やかな社会の実現を目指してまいります。

2016年7月

株式会社ゴールドウイン

代表取締役社長 西田明男



目次

トップメッセージ — 1
CSRに対する基本的な考え方 — 4

SOCIAL — 5

すべての人がスポーツを、等しく楽しめる社会の実現へ

子どもたちの夢を応援!全国各地のチルドレンスキーヤーを支援する「ナスターレース チルドレン/キッズ ジャパンカップ」に協賛/ THE NORTH FACE KIDS NATURE SCHOOL ~親子でロングトレイルに楽しく挑戦~/テニスと歩む未来への第一歩。初めての子どもたちのためのレッスンイベント/ゴルフを通じてルール・マナー・エチケットを学ぶ「ゴールドウインジュニアチャレンジゴルフ大会」/プロ選手を招いての小学生のための「カタレ富山サッカー教室」/「MIPスポーツゲームズ」に特別協賛/障がい者スポーツ日本代表の活動をサポート/視覚障がい者のクライマーを支援する「Monkey Magic Tee」/熊本地震への支援/ネパール地震の被災地を支援するTシャツを発売/被災地へのチャリティとして「ヌブシプーティ キャンペーン」を実施/「富山マラソン2015」のゴールドパートナーに/「ULTRA-TRAIL Mt. FUJI」と「Shizuoka to Yamanashi」に特別協賛/「寛仁親王記念杯 第17回北陸ウェルフェアゴルフトーナメント」を特別後援/南砺市立福光美術館企画展「三浦雄一郎エベレスト登頂写真展」に協力/「津沢夜高あんどん祭り」後の地域清掃作業/職場体験受け入れ「14歳の挑戦」

FAIR — 15

商品企画・開発からものづくり、お客様の手に届くまで心をこめて

新たなアスレチックビジネスの可能性を拡大する新業態、「NEUTRALWORKS. BY GOLDWINを東京・外苑前にオープン/ellesse tennis club with windsor racket shopがオープン、テニスギアとテニスライフスタイルに特化した新業態/シチズンサイエンス社(仏)とウエアラブルセンシングテクノロジーを利用したラグビー用ウエアの共同開発で合意/JAXAと有人宇宙飛行計画で共同開発した宇宙下着用の消臭素材を応用したスウェット/3Dスキャン測定でポジションごとに最適な機能を追求したラグビーワールドカップ2015日本代表のジャージを開発/素材と縫製を一体化させて防水透湿加工を行う技術FUSEONEテクノロジーを用いた画期的なアウター/海外生産委託先とのサプライヤー行動規範覚書締結の推進/海外の3工場を品質優良工場として表彰

CLEAN — 21

スポーツをこよなく愛するからこそ、環境にやさしく

ISO14001認証取得/持続可能な社会を実現するために/2015年の環境活動報告/循環型社会に向けての取組/低炭素社会に向けて/自然との共生について/アイコジャパンとのパートナーシップにより新たな「GREENCYCLE」の取り組みを開始/バイオ素材開発のベンチャー、Spiber株式会社と事業提携し、人工タンパク質素材を使用した「MOON PARKA」を開発/「アースデイ東京」に協賛するアースディアクション/日本の海岸をキレイにするビーチクリーン作戦/学校体操服の回収

PASSION — 29

仲間とともに、情熱的に働くことのできる企業であること

当社従業員がSC接客ロールプレイングコンテスト全国大会で大賞を受賞/グループ全販売社員の経験と誇りをこめて「ゴールドウインおもてなしポリシー」を策定/「SPORTS FIRST」を実践する従業員を表彰するSPORTS FIRST AWARDS/「東京都スポーツ推進企業」の認定を受ける/家族ぐるみで参加できる「うんどうかい(運動会)」/ワークライフバランスの実践のため、時間外労働の削減と有給消化を促進/「心とからだの健康相談室」で心身の不調を早期発見し健やかに働くことを支援

OPEN — 35

社会に開かれた経営とコーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンス体制/内部統制システム ~業務の適正を確保するための体制/コンプライアンス体制について

会社情報 — 37

経営情報 — 38

CSRに対する基本的な考え方

「スポーツ・ファースト」というタグラインのもと、開かれた経営、顧客満足、従業員育成、地域や社会への貢献、地球環境や生態系への配慮という5つの柱で、スポーツを通じた豊かな暮らしの実現と、社会の発展に寄与することをめざします。

● 企業理念

スポーツから、もっと健やかで楽しい明日へ。1950年の創業以来、「スポーツのある豊かな暮らしを築き上げること」を当社は企業理念としてきました。その企業理念のもと、ゴールドウインはスポーツを通じてクオリティ・オブ・ライフの向上に寄与してまいります。

● CSR基本方針

上場企業に求められる高いレベルでの経営の透明化、お客さまの手に商品が届くまで、製造から販売に至るあらゆる段階で心を配ること、従業員がのびのびと健康に働きつづけられる職場環境づくり、そして地域・社会へのスポーツを通じた貢献や、地球環境・生態系への配慮。これらすべてを当社は「スポーツ」への敬意と情熱を通じて実現してまいります。

● CSR推進体制

当社の役員および関係会社代表が出席する「CSR推進委員会」を設置。CSR推進委員会で決定された基本的な活動方針は、グループ従業員全員に徹底され、各部門および個人レベルで具体的な活動を推進します。



CSRレポートについて

本レポートは、ゴールドウイングループについてより多くを知っていただくため、毎年発行しているものです。ゴールドウインのタグラインである「SPORTS FIRST」を中心に、CSRの5つの柱として定めた「OPEN」「FAIR」「CLEAN」「PASSION」「SOCIAL」に沿ってページを構成しています。当社は「身の丈にあった、継続的で、全員参加によるCSR推進活動」をモットーに、これからも積極的にCSR推進活動に取り組んでまいります。本レポートならびに当社のCSR推進活動に対するご意見、ご感想、ご要望などをお待ちしております。

※環境面への配慮から本レポートは印刷せず、当社ホームページのみでの公開としております。

報告範囲

対象期間:2015年4月から2016年3月の活動を中心に、一部直近の活動を含みます。

対象範囲:ゴールドウイングループ全18社を対象としております。

発行:2016年7月

発行責任者:管理本部総務部

主要コミュニケーション媒体

ゴールドウイングループホームページ: <http://www.goldwin.co.jp/>

CSRレポート: <http://www.goldwin.co.jp/corporate/info/csr>

会社情報: <http://www.goldwin.co.jp/corporate/info/about>

SOCIAL

すべての人がスポーツを、
等しく楽しめる社会の実現へ

地域・社会とのかかわり

スポーツのある豊かな暮らしを築きあげること——これが創業以来変わらぬ当社の理念です。老若男女を問わずすべての人に、スポーツを楽しむ機会が等しく与えられることで、活力ある社会が生まれます。トップアスリートも、ハンディキャップを負った人も、次世代を担う子どもたちも、誰もが等しく、自分の体を動かす喜びをいつまでも味わうことができる社会。そのような世の中の実現に向け、私たちは大きな役割を果たしてまいります



次世代育成に対する考え方

次世代に活躍するアスリートを育成するため、子どものためのテニスのレッスンイベント、ゴルフを通じてルール・マナー・エチケットを学ぶジュニアチャレンジゴルフ大会、プロ選手を招いてのサッカー教室、トップアスリートの指導による「MIPスポーツゲームズ」など、当社は子どもたちを対象とするスポーツ支援活動を積極的に行っています。

子どもたちの夢を応援！全国各地のチルドレンスキーヤーを支援する「ナスターレース チルドレン/キッズ ジャパンカップ」に協賛

2016年3月5日、6日に「第17回 ゴールドウイン ナスターレース チルドレン/キッズ ジャパンカップ」が苗場スキー場で開催され、幼稚園児から15歳までのチルドレンスキーヤーが全国各地から集まりました。この大会の上位入賞者6名には「ウイスラーカップ」の出場資格が授与されます。「ウイスラーカップ」は12歳以上16歳未満のスキーヤーを対象にした、FIS(国際スキー連盟)主催の北米最大級にして世界トップレベルの国際大会です。同年4月に開催された「第24回 ウイスラーカップ」に参加した日本人選手は、U14男子大回転で金メダルを獲得するなど優秀な成績を残しました。



THE NORTH FACE KIDS NATURE SCHOOL ～親子でロングトレイルに楽しく挑戦～

自然に寄り添って生きる力を、地球の未来を託す子どもたちに伝えたい。そんな願いから当社では「THE NORTH FACE KIDS NATURE SCHOOL」を2014年から実施しています。2015年は8月29日、30日に「THE NORTH FACE KIDS NATURE SCHOOL “Long Trail” in信越トレイル」を開催し、長野県・斑尾山頂から涌井にかけて伸びる全長80kmにおよぶ自然道の一部で参加者親子がロングトレイルを体験しました。今回は赤池キャンプサイトにテントを張って宿泊、シングルストーブやクッカーを使用して野外料理にもチャレンジするという日常では体験することのできないものですが、大人も子どもも大自然の中で貴重なひとときとなった様子でした。



本年度は、信越トレイル以外にも、下記活動など計7回実施いたしました。
 FAMILY TREKKING 茶臼岳・朝日岳トレッキング(2015年6月6日)
 Family Camp in KOMORO(2015年10月2日～3日)
 KIDS TREKKING in 蓼科山(2015年10月10日)
 Family Climbing in MIZUGAKIYAMA(2015年10月31日)

テニスと歩む未来への第一歩。初めての子どもたちのためのレッスンイベント

エレッセとテニス専門店ウインザーラケットショップとのコラボレーションにより、2015年7月25日に上用賀テニスクラブにて「エレッセ 夏休みキッズテニス体験レッスン」を開催しました。対象となったのは小学校1年生から4年生までの未経験・初心者の子供たち。ITF(国際テニス連盟)が提唱する教育プログラムPLAY&STAY(プレイアンドステイ)を採用し、初めてラケットを持った子どもでも簡単なゲームが楽しめるよう、コートやネットもプレイしやすい子どもサイズにする工夫も。参加した子どもたちからは「これからもテニスをしたい」という感想が寄せられました。



ゴルフを通じてルール・マナー・エチケットを学ぶ「ゴールドウインジュニアチャレンジゴルフ大会」

ゴルフ倶楽部ゴールドウインでは、ジュニアゴルファーの競技力向上と、プレイを通じてルール・マナー・エチケットを学ぶことを目的とする「ゴールドウインジュニアチャレンジゴルフ大会」を毎年開催しています。6回目となった2015年は8月7日に開催され、炎天下にもかかわらず43人のジュニアゴルファーが18ホールのプレイを行い、一人の棄権者もなく無事に大会を終了しました。



プロ選手を招いての小学生のための「カターレ富山サッカー教室」

当社がオフィシャルパートナーを務める「カターレ富山」の選手4名、普及育成スタッフ4名を講師に招き、富山県・小矢部運動公園にて2015年10月24日に「カターレ富山サッカー教室」を開催しました。この教室には小矢部市内スポーツ少年団に所属する小学校

低学年の児童71名が参加。サッカーの基本となる身のこなし、ドリブルなどの指導を受けた後は、選手のサイン会も行われ、憧れの選手と間近に接する貴重な機会となりました。



「MIPスポーツゲームズ」に特別協賛

特定非営利活動法人MIPスポーツ・プロジェクトでは、トップアスリートの指導のもとで子どもたちが様々なスポーツを体験する機会を設け、将来のスポーツライフをより豊かにするきっかけを作ることが目的として、「MIPスポーツゲームズ」を開催しています。同法人は、「モラル(M)・インテリジェンス(I)・フィジカル(P)」のバランスの取れた人間形成、日本のスポーツ文化の向上、アスリートのセカンドキャリアの構築、新しいスポーツ産業の創造を目的に活動しております。当社は2002年からこの大会に特別協賛を続けており、2015年度は全国各地(岐阜県下呂市、山形県山形市、三重県いなべ市、宮城県可美町、鳥取県鳥取市)で計5回開催され、のべ1983人の子どもたちが参加しました。本年度も参加する子どもたちへの「循環型リサイクルTシャツ」や、イベントスタッフへのユニフォームの提供などを行いました。



障がい者スポーツ競技への支援

当社は誰もが共生できる環境作りのために、障がい者スポーツのサポートを積極的に行っています。2015年4月に日本障がい者スポーツ協会とオフィシャルパートナー契約を、16年4月には一般社団法人日本ウィルチェアーラグビー連盟とオフィシャルサプライヤー契約を、同年同月には日本身体障がい者水泳連盟とオフィシャルパートナー契約を締結しています。

障がい者スポーツ日本代表の活動をサポート

日本身体障がい者水泳連盟とのオフィシャルパートナー契約締結にともない、当社が企画・生産する「スピード」ブランドで日本代表ウェアをサポートしております。また一般社団法人日本ウィルチェアーラグビー連盟とのオフィシャルサプライヤー契約締結にともない、

当社グループ会社が企画・生産する「カンタベリー」ブランドからはウェアを、当社の「C3fit(シースリーフィット)」ブランドからはアンダーウェアを提供し、日本代表をサポートしています。



視覚障がい者のクライマーを支援する「Monkey Magic Tee」

ロッククライミングは視覚障がい者が安全に楽しめる数少ないスポーツのひとつです。NPO法人「モンキーマジック」は視覚障がい者のクライミングをサポートし、クライミングを通じて健常者との交流の場を広げ、ユニバーサルな社会をめざす活動をしています。この取り組みは2006年1月にスタートし、2015年で10年目を迎えました。ザ・ノース・フェイスはこの「モンキーマジック」の活動を支援するTシャツ「Monkey Magic Tee」を製作・販売し、売上の一部を寄付しています。



震災の被害にあわれた方々への支援

2015年4月に起きたネパール地震では、現地の多くの方が被害を受けられました。また2016年4月14日以降に発生した熊本・大分地震でも、被災者の多くが避難所などでいまでも厳しい生活を送っています。当社ではこれらの被災者に対し、チャリティーやウェアの提供などで支援を行っています。

熊本地震への支援

熊本地震の被災者に対し、当社は福岡営業所および九州地区にある販売店を通じ、避難所などでの生活を支援するため、エコノミークラス症候群対策として血行促進効果がある「C3fit(シースリーフィット)」のゲイターおよびハイソックス、合計約3,000点を寄付しました。また、2016年4月22日から5月15日まで国内の直営店で募金活動を実施。さらに当社グループ会社を対象とした社内募金も行い、日本赤十字社を通じて現地被災者に届けました。



ネパール地震の被災地を支援するTシャツを発売

2015年4月25日に起こったネパール地震では、シェルパやその家族たちも大きな被害を受けました。数多くのヒマラヤ遠征隊がウェアとして着用しているザ・ノース・フェイスですが、ヒマラヤ登山は地元ネパールのシェルパの協力なくしては成し得ません。ザ・ノース・フェイスでは2015年8月下旬からネパール地震の被災地支援のチャリティーTシャツを全国のショップで販売し、登山家・三浦雄一郎氏が親善大使をつとめる国連WFP協会を通じて売上の一部を被災地に寄付しました。



被災地へのチャリティーとして「ヌプシブーティ キャンペーン」を実施

ネパール地震に対するチャリティーとして、ザ・ノース・フェイスの人気フットウェア「ヌプシブーティ」対象商品の購入者から抽選で1,000名にオリジナルマグカップをプレゼントする「ヌプシブーティ キャンペーン」を実施しました。全国のヌプシブーティ取扱店舗で2015年11月20日から12月27日にかけて行われ、売上金の一部は国連WFP協会を通じてネパール地震の被災地に寄付されました。

地域への貢献

当社は創業地・富山に対する地元企業の責任として、富山を含めた地域でのスポーツ振興に積極的に取り組んでいます。昨年から新たに始まった「富山マラソン」でもゴールドパートナーとなり、大会運営にも協力しています。

「富山マラソン2015」のゴールドパートナーに

2015年11月1日に「富山マラソン2015」が開催されました。今回が初開催となる大会でしたが、当日は晴天に恵まれ、立山連峰を眺めながら秋の越中道を約12,000人の市民ランナーが駆け抜けました。当社はゴールドパートナーとして特別協賛し、ボランティアスタッフ用のジャケットとキャップ、参加賞Tシャツの提供など、大

会を盛り上げるためのさまざまなサポートをしました。また給水所における水やスポーツドリンクを提供するボランティアにも従業員50名が参加しました。2016年もゴールドパートナーとして大会を盛り上げてまいります。



「ULTRA-TRAIL Mt. FUJI」と「Shizuoka to Yamanashi」に特別協賛

2015年9月25日から27日に富士山麓で行われた「ULTRA-TRAIL Mt. FUJI」(UTMF)と「Shizuoka to Yamanashi」(STY)に特別協賛しました。「UTMF」は、富士山麓一周168.6kmを、また「STY」は半周80.5kmを走り抜ける日本最大のトレイルランニングレースで、参加選手はUTMFが約1400人、STYが約1000人です。今回も両大会には運営スタッフや競技者として約

90名の従業員が参加し、スタート地点での選手の装備確認、フィニッシュ地点での業務全般、山中コース上の誘導スタッフなどをつとめました。当社ではこの二つの大会への特別協賛と従業員の運営参加を、スポーツが持つ一体感や達成感を感じることを通じた「SPORTS FISRT」を実践する機会としてとらえています。



「寛仁親王記念杯 第17回北陸ウェルフェアゴルフトーナメント」を特別後援

富山県小矢部市のゴルフ倶楽部ゴールドウィンにて2015年10月15日に開催された「寛仁親王記念杯 第17回北陸ウェルフェアゴルフトーナメント」を今回も特別後援しました。同大会は障がい者福祉への正しい理解を深める活動の推進と、スポーツの語源である「楽しむこと」を重視し、ゴルフの原点ともいえるフェアプレイの精神に立脚した「ルール、マナー、エチケット」に通暁するプレイヤーの育成を目的としています。今大会で生じた純益金は、NPO法人わくわく小矢部へ贈呈され、機能訓練の用具購入等に役立てられました。



南砺市立福光美術館企画展「三浦雄一郎エベレスト登頂写真展」に協力

南砺市立福光美術館にて2015年5月30日から7月20日にかけて開催された企画展「三浦雄一郎エベレスト登頂写真展」に協力しました。この企画展では、2013年5月に三浦雄一郎氏が世界最高齢80歳でエベレスト登頂を成し遂げた時に登山隊が撮影した100枚以上の写真が展示され、その足跡を振り返りました。当社では、登頂時に使用された装備の展示と飾り付けをサポートしました。登頂時の装備と同型の商品を来場者の方が自由に触れるようにした展示はたいへん好評でした。



「津沢夜高あんどん祭り」後の地域清掃作業

武者絵を描いた大きな行灯が激しくぶつかり合うことで知られる、富山県津沢地区の名物、「夜高あんどん祭り」。このお祭りが行われた後の清掃活動に当社の従業員は積極的に参加しています。2015年は76名が地域清掃ボランティアに参加し、朝早くから地域一帯の清掃を行いました。



職場体験受け入れ「14歳の挑戦」

ゴールドウィンテクニカルセンターでは、毎年地元の富山県小矢部市立津沢中学校の生徒を職場体験に受け入れています。今年も生徒たちは型抜きから裁断まで、また入庫から梱包、出荷、蔵出しなどの作業を実際に体験する「14歳の挑戦」に参加し、商品が製造されてから出荷されるまでのプロセスや、ものづくりの仕事の大切さを学ぶ貴重な機会となりました。



FAIR

商品企画・開発からものづくり、
お客様の手に届くまで心をこめて

お客さまとのかかわり

身体能力の限界に挑む超一流のアスリートや冒険家は、みずからの高い能力を、最大限まで引き出してくれるウェアがどのようなものであるかを知っています。日々ストアを訪れてくださるお客様は、時代がどのような商品を求めているかを知っています。商品の企画・開発段階からお客様の手に届くまで、あらゆる段階で現場の知恵を汲み上げ、外部の意見にも率直に耳を傾けることで、完成度の高い商品の提供に努めてまいります。



新たなアスレチックビジネスの可能性を拡大する新業態、 「NEUTRALWORKS. BY GOLDWIN」を東京・外苑前にオープン

新国立競技場をはじめスポーツ施設が集中する東京・外苑前に、アスレチックビジネスの可能性を拡大するフラッグシップショップとして、2016年4月29日に「NEUTRALWORKS. BY GOLDWIN (ニュートラルワークス、バイ ゴールドウィン)」をオープンしました。この店舗は、「スポーツライフスタイルで24時間を過ごしたい人たちのためのココロとカラダをニュートラルに整える」ことをコンセプトにしています。長年にわたり健康医学や睡眠マネジメントに関係す

る製品の研究開発を行っている大阪府立大学名誉教授・医学博士・清水教永氏を総合監修者としてお迎えし、デザインや機能性の高い商品を提案するだけでなく、高品質なサービスや情報をも得ることができるスペシャリティストアを目指しております。また、外壁には大型LEDビジョンを設置し、当社が提案するスポーツにまつわるコンテンツを配信していきます。



ellesse tennis club with windsor racket shop がオープン テニスギアとテニスライフスタイルに特化した新業態

テニス・バドミントンの専門店であるウインザーラケットショップとの協業により、2015年4月21日に東京・二子玉川の玉川高島屋S・C内に「ellesse tennis club with windsor racket shop」をオープンしました。高感度なファッション性と機能性を持ち合わせたエ

ルッセルのウェアやグッズと、ウインザーラケットショップがセレクトする専門性の高いテニスギアを合わせてお客様にご提案することで、テニスの楽しみ方を広げる新しいスタイルのショップです。



シチズンサイエンス社(仏)とウェアラブルセンシング テクノロジーを利用したラグビー用ウェアの共同開発で合意

2015年4月16日、当社およびグループ会社であるカンタベリー・オープン・ニュージランド・ジャパンは、シチズンサイエンス社(仏)とウェアラブルセンシングテクノロジーを利用したゲームシャツとソフトウェアの共同開発を行うことに合意しました。GPS機能に加え、十数種類の生体情報と活動情報をリアルタイムで計測できるウェアラブルセンシングテクノロジーにより、チームメンバー全員(最大25名)のデータを計測し、効果的なトレーニングや試合戦術の分析を行うことが可能となります。この署名式にはフランスの都市・青少年・スポーツ大臣 パトリック・カネール氏とティエリー・ダナ駐日フランス大使が立ち会いました。



JAXAと共同開発した宇宙下着用の消臭素材を用いたスウェット

JAXAと共同開発した消臭素材を採用した「LIGHT/WARM SWEAT」シリーズを、全国の「MXP(エムエックスピー)」取扱店舗で2015年8月から販売開始しました。表面はコットン100%の天然素材の自然な表情を持ちながら、裏面には「サーモライト光電

子マキシフレッシュ」という機能素材による裏毛組織の「LIGHT/WARM SWEAT(ライト/ウォーム スウェット)」という生地を使用。宇宙下着の技術を応用して高い消臭機能を発揮する、薄くて軽く暖かいウェアです。



3Dスキャン測定でポジションごとに最適な機能を追求したラグビーワールドカップ2015日本代表のジャージを開発

ラグビーワールドカップ2003以来、株式会社ゴールドウインテクニカルセンターの技術主席・沼田喜四司が当社のグループ会社であるカンタベリーオブニュージーランドジャパンから発表されるラグビー日本代表ユニフォームの開発に携わっています。その開発の信条は「動きやすさ」「つかまりにくさ」に加えて「体型に合う」「動きに対応する」といった機能優位性を追求し、さらに「日本らしいデザイン」に仕上げることを。ラグビーはポジションによって運動性が異なり、筋肉の太さもゲーム中は大きく変化します。平常時とは違う体型までも考慮に入れたフィット感を実現するため、ラグビーワールドカップ2015日本代表ジャージの開発にあたっては選手の体型をポジション別に3Dスキャンで測定し、それぞれのポジションに最適なフィッティングパターンと機能を追求しました。



素材と縫製を一体化させて防水透湿加工を行う技術 FUSEONEテクノロジーを用いた画期的なアウター

画期的な防水透湿加工を行う技術「FUSEONEテクノロジー」を用いた防水透湿アウターの販売を、2015年2月初旬より開始しました。FUSEONEは、従来のように防水被膜に針穴を開けることなく、接着や超音波溶着といった無縫製の手法を用いて表地と一体化させる技術。シームテープによる針穴の目貼りが不要になるため、柔らかさ、軽量性、動きやすさとともにデザイン面でも美しいフォルムを実現することができます。この「FUSEONEテクノロジー」を用いた防水透湿アウターは「ザ・ノース・フェイス」と「ヘリー・ハンセン」の2ブランドから発表されています。



海外生産委託先とのサプライヤー行動規範覚書締結の推進

公正なルールに則った企業活動を仕入先となる海外生産委託先にも遵守してもらうため、CSR調達活動の一環として当社は、海外生産委託先と「サプライヤー行動規範」覚書の締結を推進しています。この規範では「法令遵守」「労働及び人権」「安全衛生」

「環境保全」「安全・安心な製品の生産」「情報管理・公正取引・倫理」について明文化されています。

海外の3工場を品質優良工場として表彰

当社では、商品の品質を上げるために中国・アセアン工場への工場指導と品質改善のため、定期的に主要工場において品質会議を開催しています。2012年から工場の士気向上を図るため、より品質の高い生産に繋げる目的で品質優良工場の表彰制度を行っています。表彰は当社の厳しい品質基準をクリアした工場が対象となります。2015年度は中国1工場、ベトナム2工場が品質優良工場として表彰されました。



CLEAN

スポーツをこよなく愛するからこそ、
環境にやさしく

環境・生態系とのかかわり

美しい自然のなかで行うからこそ、スポーツは素晴らしい体験となりえます。地球環境の保護に貢献し、自然との調和をはかりつつ企業活動を行うことは、すべての企業に課せられた責任です。当社はGREEN IS GOODというコンセプトのもと、これまでも持続的かつ積極的に、自然環境の保護にとりくんでまいりました。人々がスポーツを楽しめる豊かな自然を次世代に確かに受け渡すことを誓います。



ISO14001認証取得

ゴールドウイングループは富山地区にて、スポーツアパレル業界で初めて1999年11月にISO14001(環境マネジメントシステム)の認証を取得しました。環境保全活動・環境配慮商品の開発と省資源による事業効率向上とを両立させるため、2006年2月にはゴールドウイン全事業所と染色センターがISO14001の認証を取得。さらに2008年7月にはゴールドウインロジテムが、2011年8月に

はカンタベリーオープンニュージールランドジャパンが、2013年9月にはブラックアンドホワイトスポーツウェアが、同様にISO14001の認証を取得しています。当社の経営方針のひとつである「きれいな経営」を実践し、雇用・経済活動にくわえ、環境に配慮した商品・サービスの提供を通じて社会に貢献してまいります。



持続可能な社会を実現するために

環境基本理念

私達には、自然と共存し調和ある繁栄を実現する崇高な使命が与えられています。ゴールドウイングループは、スポーツウェアをはじめ各種機能ウェアの企画、製造、販売を通じて環境負荷の低減を目指すとともに、健康総合企業として地球環境にやさしい商品の提供により環境への有益な影響を増進するなど、地球環境保護への姿勢を次の環境方針に定めます。

環境方針

1. 事業活動または保有する設備が適用を受ける環境に関する法律、規則およびその他要求事項を遵守するとともに、可能な限り自主基準を設定し、環境の汚染予防と保全に努めます。
2. 事業活動が環境に与える有害な影響を認識し、全従業員参加によりその影響を低減し、緑の地球を守ります。
3. 環境影響を改善するための目的・目標の設定、及び見直しを実施し、継続的な改善活動を実施します。
4. エネルギーおよび資源の使用量・排出量を十分に認識し、限りある地球資源の有効利用、産業廃棄物の削減を実施します。
5. 持てる経営資源を結集して独自の技術を開発し、人の健康と環境にやさしい商品の開発を推進いたします。
6. 自然と生き物が健康体でありつづけるために、自然環境に調和し、地域社会と共存できる企業でありつづけます。

2015年の環境活動報告

ゴールドウイングループでは「環境基本理念」と「環境方針」を定め、持続可能な社会実現のための行動計画を作成し、環境パフォーマンスの持続的な改善に取り組んでいます。

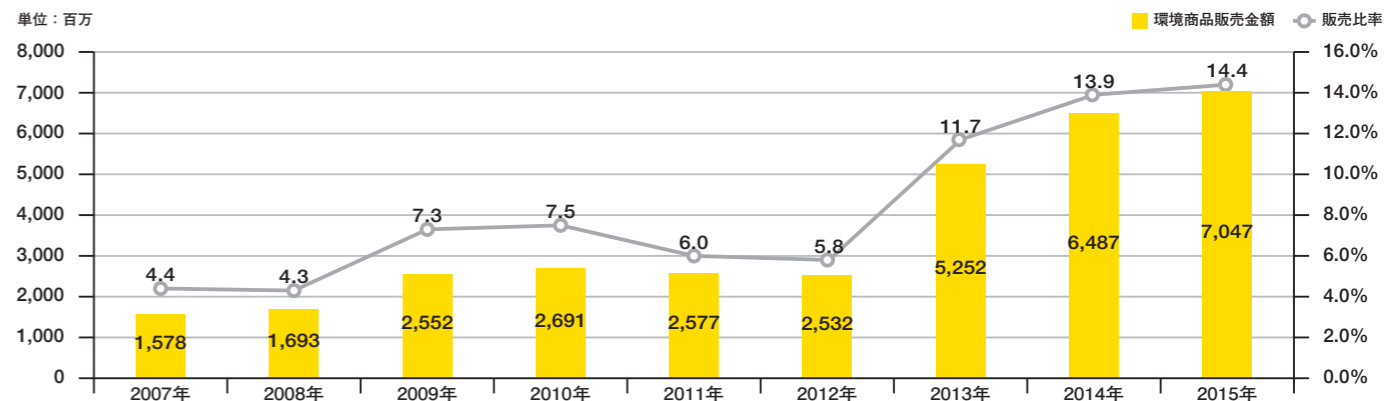
①循環型社会に向けての取組

人の健康と環境にやさしい商品の開発・販売

当社は環境方針として「人の健康と環境にやさしい商品の開発・販売」を掲げております。この目的を達成するため、2015年は管理指標として「環境にやさしい商品の販売比率」の目標値を

14.5%以上としましたが、ほぼ目標どおりの14.4%となりました。2016年度は販売金額目標を設定し管理するほか、引き続き、環境配慮型商品の開発、製品回収への取り組み、店頭での回収BOXの設置、グリーンダウンリサイクルプロジェクト、アイコ社との協働による製品回収リサイクルなどを推進してまいります。

環境商品販売実績推移

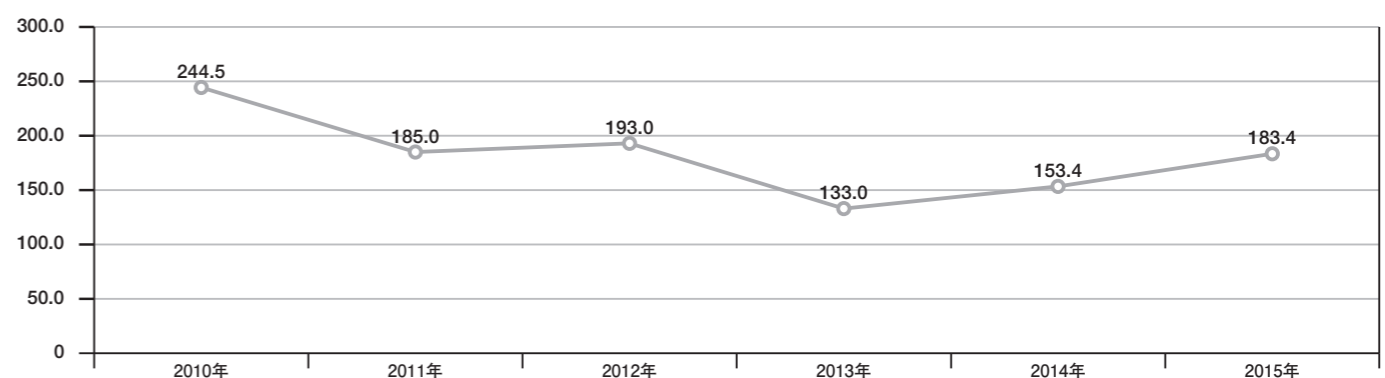


産業廃棄物の削減

当社は環境方針として、製品・原材料における廃棄処分量の低減を掲げ、その発生抑制と製品の再利用を進めています。2015年の管理指標は廃棄物排出量を140t以内としましたが、結果は183tと達成できませんでした。未達要因としては、「チャンピオン

ブランドの事業譲渡に伴う製品・生地処分の増加が挙げられます。今後は廃棄物発生予防へ向けた活動の推進、発注流動管理の徹底、余剰資材の有効活用の推進、製品不良・リコール低減活動の推進、加工ロスの徹底排除、廃棄物の分別、細分化による再利用の推進、5S活動の推進などを通して、産業廃棄物の削減にこれまで以上に努めてまいります。

産業廃棄物(廃プラ)排出量推移(t)



限りある地球資源の有効活用

当社は環境方針のなかで「限りある地球資源の有効活用」を掲げており、省資源活動の推進、原材料使用料の削減をすすめています。2015年度は、原材料ロスの低減活動の推進、クレーム・リベ

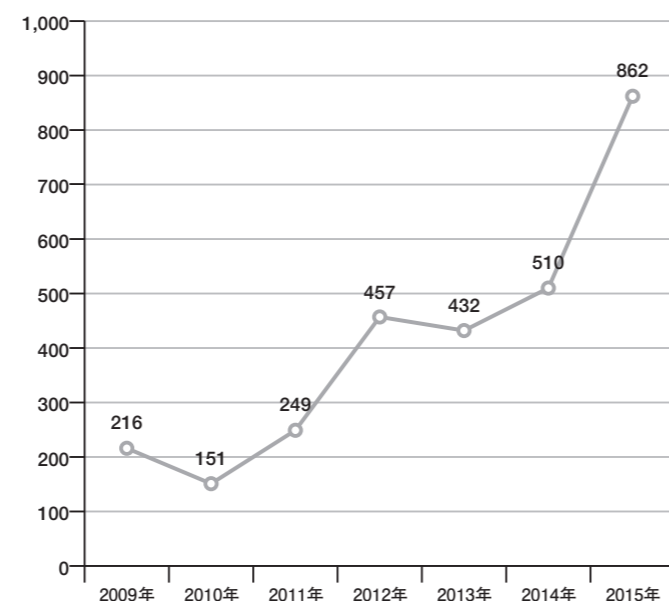
ア情報からのフィードバックによる設計改善、設備管理・工程管理の徹底、物流梱包資材の削減活動の推進、仕事の仕組み・仕方の見直しにより管理・効率のアップ(業務改善活動)の推進、使用後の製品回収活動再利用システム・製品回収量の向上(アイコジャパンとの協働)に取り組みました。

②低炭素社会に向けて

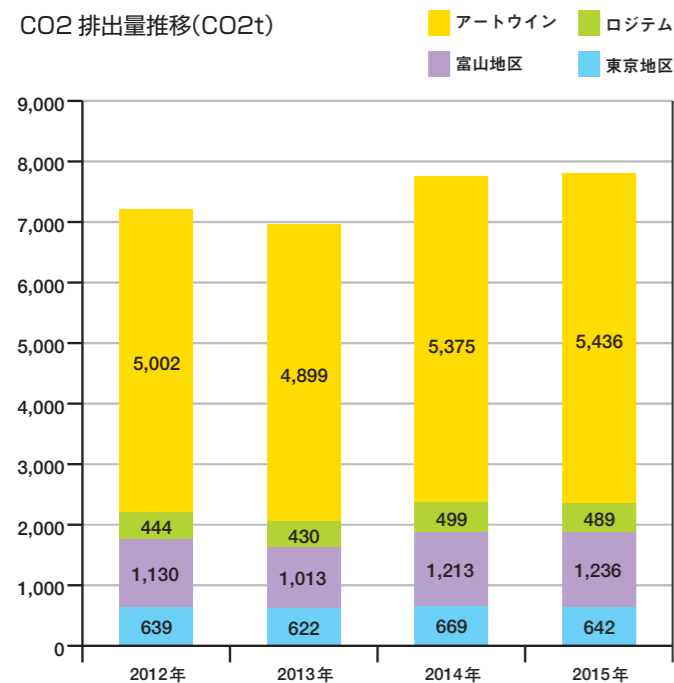
環境の汚染予防と保全活動

当社は環境方針のなかで「環境の汚染予防と保全活動」を掲げており、CO2排出量の削減に継続的に取り組んでいます。2015年は管理指標としてCO2排出量7,890t以内を設定、実績も7,803tと目標を達成しました。また今年度より排出係数を見直し、変動制に切り替えております。さらに排出係数に影響されない指標として、原油換算エネルギー使用量を新たな指標として導入管理しました。この他にも省電力活動の推進、業務改善や作業の効率化をはかり時間外勤務の削減による効率的活用、生産設備の省エネ設備導入・メンテナンスと効率稼働、輸送ルートの見直しや積載効率の改善活動の推進、アイドリングストップなどの省エネ運転の推進など、低炭素社会のための取り組みを行っています。

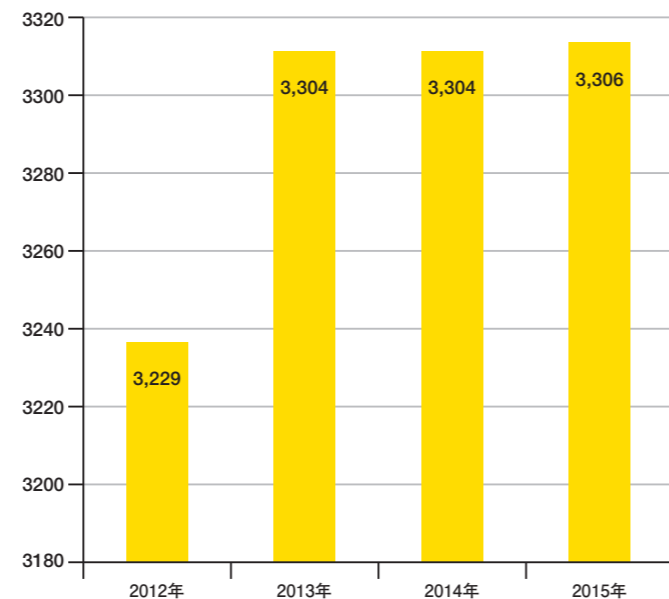
環境影響改善に繋がる業務改善件数推移(件)



CO2 排出量推移(CO2t)



原油換算エネルギー使用量(kl/10gj)



③自然との共生について

地域社会と共存できる企業

当社は環境方針のなかで「地域社会と共存できる企業」を目指しています。2015年には自然とのふれあいの機会を増やすため、廃棄されるヨットの帆でトートバッグを作成するワークショップや自然環境の保全に対する啓蒙教育などのイベントを16回開催したほか、全国で13回にわたり地域内清掃を実施しました。



アイコジャパンとのパートナーシップにより新たな「GREENCYCLE」の取り組みを開始

2015年5月よりリサイクル企業の株式会社アイコジャパンとのパートナーシップのもと、これまでも行ってきた「GREENCYCLE」の取り組みをさらにパワーアップしました。「GREENCYCLE」はポリエステル製品とナイロン製品をザ・ノース・フェイス等当社の直営店舗などで回収して再生する循環型リサイクルシステムで、今回の協業により、当社商品以外の衣類も回収の対象となりました。実施

店舗も提携当初の32店舗から、2015年10月20日には43店舗へと増加しました。また、衣類の店頭における回収点数は1,367件、計587.6kgとなり、回収した衣類をアイコジャパンへ計42回発送という実績を上げることができました。回収された商品は、リウェア(古着として販売)やリユース(繊維製品に再利用)、リサイクル(再資源化)により最適な方法で活用されます。



バイオ素材開発のベンチャー、Spiber株式会社と事業提携し、人工タンパク質素材を使用した「MOON PARKA」を開発

当社はバイオ素材開発の国家プロジェクトにも参画しているSpiber株式会社と、スポーツアパレル分野における事業提携契約を締結し、新世代高機能素材を用いた新製品の開発を進めています。その一環として、2015年10月ザ・ノース・フェイスでは新素材を使用した「MOON PARKA(ムーン・パーカ)」のプロトタイプを発表しました。世界で初めて人工タンパク質素材を使ってアパレル工業ラインで製造された「MOON PARKA」は、世界中に衝撃を与えました。現在のスポーツアパレル製品の多くは、石油を原料としたポリエステルやナイロンで作られており、これらの原料は製造過程において膨大なエネルギーを消費し、温室効果ガスを排出します。石油などの枯渇資源に依存せず、強靱でありながら生体適合性に優れ、生分解性を持った構造タンパク質素材を開発することで、当社では持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



「アースデイ東京」に協賛するアースデイアクション

4月22日の「アースデイ」は1970年代から続く地球の未来のために行動する日です。「アースデイ東京」はその一環として開催される、日本最大のアースデイイベントであり、当社では毎年協賛を続けています。2016年4月23日、24日に代々木公園で開催された「アースデイ2016」にはザ・ノース・フェイスのブースを出展したほか、ザ・ノース・フェイスおよびヘリー・ハンセンの店舗を中心とした全国53店舗にて、ショップスタッフによる近隣の清掃活動や消費電力削減といったアースデイアクションが実施されました。



日本の海岸をキレイにするビーチクリーン作戦

スポーツの舞台である自然環境に対する意識を高めることを目指して、2006年から日本各地の海岸を清掃する「ビーチクリーン」を実施しています。10年目を迎えた本年度は2015年7月11日に氷見市松田江海岸にて開催。従業員と一般参加者を含めて約130名が砂浜に打ち上げられたゴミをていねいに拾い集め、清掃を行いました。今回は富山県主催「森・川・海リレー清掃キャンペーン」に登録しての開催であり、参加者には記念品としてヘリー・ハンセンのTシャツが配布されました。



学校体操服の回収

2011年より、使わなくなった卒業生の学校体操服を回収し、石油から精製したときと同じ品質のポリエステルに再生させるリサイクル活動を行っています。参加校は、高岡工芸高等学校、富山北部高等学校、桜井高等学校、泊高等学校、逗子開成中・高校となり、長袖ジャージ上・下、ハーフパンツなど計281着を回収いたしました。



PASSION

仲間とともに、情熱的に働くことのできる企業であること

従業員とのかかわり

スポーツも仕事も、ベストな結果を出すには心と体のコンディションを整えることが大切です。当社は従業員の心身両面の健康に気を配り、よりよきワークライフバランスの実現に努めます。多彩なクラブ活動の奨励や、「SPORTS FIRST」という社内交流サイトなどを通じて、アスリートとしての活動が続ける人にも、アスリートをバックアップする側にまわった人にも、「スポーツ・ファースト」という精神のもとで、健やかに働ける職場環境を整えてまいります。



当社従業員がSC接客ロールプレイングコンテスト全国大会で大賞を受賞

2016年1月22日にパシフィコ横浜にて開催された「第21回SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会」で、当社従業員であるザ・ノース・フェイス ジャズドリーム長島店(三重県桑名市)の竹原篤史が大賞(SC接客日本一)を受賞しました。当社では中期経営計画の重点課題として、実需型ビジネスの推進を進めており、今

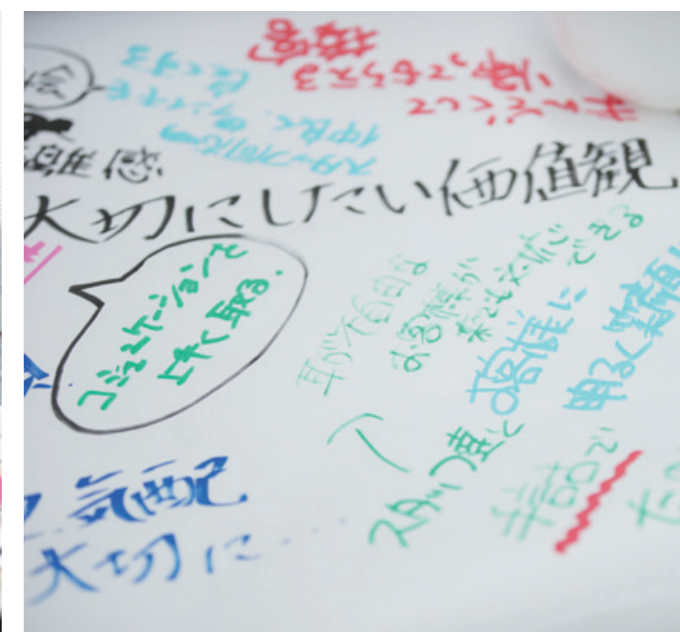
回の受賞は、本人が日々努力を積み重ねた結果であると同時に、スタッフ全員で共有することのできるマニュアルを作成し、全社をあげて接客技術向上に努めてきたことの成果でもあります。当社従業員の受賞は全従業員のモチベーションの向上に大きく寄与してくれるものと確信しています。



グループ全販売社員の経験と誇りをこめて「ゴールドウインおもてなしポリシー」を策定

当社はCS活動の基礎となるものとして、「すべてはお客様のために」をモットーとする「ゴールドウインおもてなしポリシー」を策定しました。「おもてなしポリシー」は、お客様にどのような価値をご提供することができ、そのために具体的に行動できることは何かとい

う問いをもとに販売スタッフ600名が集まって作成されたもので、グループ全販売従業員の経験と誇りが込められています。企業理念と「おもてなしポリシー」に基づいた行動を追求することを定めた25箇条の「行動規範」ともども、従業員全員が遵守してまいります。



「SPORTS FIRST」を実践する従業員を表彰するSPORTS FIRST AWARDS

当社は社内サイトにて毎年「SPORTS FIRST AWARDS」という投票を全従業員にて行い、「SPORTS FIRST」を体現する従業員のなかから、得票数上位3名に「GOLD AWARD」「SILVER AWARD」「BRONZE AWARD」を授与しています。2015年度「GOLD AWARD」を獲得したのは事業統括本部 ノースフェイス事業部の綾織宏、「SILVER AWARD」はTHE NORTH FACE STANDARD二子玉川店の千葉由和が、「BRONZE AWARD」はTHE NORTH FACE FLIGHT TOKYOの中村恵子が受賞しました。

「SPORTS FIRST」を伝えるためのスポーツを一番に考えるWEBマガジン「SPORTS FIRST MAG」は下記URLからご覧いただけます。
<http://sportsfirst.jp>



「東京都スポーツ推進企業」の認定を受ける

東京都では2020年のスポーツ都市東京の実現に向けて、社員のスポーツ活動を推進する取組や障害者スポーツ支援など、スポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業等を対象に、「東京都スポーツ推進企業」の認定を2015年より行っています。当社は従業員全員が何らかのスポーツに関わり、運動会やクラブ

活動に積極的に参加していること、部署及び個人対抗のウォーキングキャンペーンを実施していること、障がい者スポーツ選手を採用していること、全国スポーツ親善大会を年1回実施していることなどを事由に申請を行い、認定企業として認められました。

家族ぐるみで参加できる「うんどうかい(運動会)」

富山地区合同による「燃えよ真夏の大会」が、2015年8月1日に開催されました。参加者は、従業員408人、家族60人の合計468人。黄・赤・白・青の4チームに分かれ、それぞれチーム丸となって時には激しく、時には和やかに、最後まで全力で戦いました。また今年は当社がオフィシャルパートナーをつとめるJリーグのカターレ富山の選手がスペシャルゲストとして応援に駆けつけ、競技にも参加してくれました。

また、東京地区で毎年開催している「うんどうかい」は2015年10月17日に予定しておりましたが、残念ながら昨年度は雨天中止となりました。



ワークライフバランスの実践のため、時間外労働の削減と有休消化を促進

「オン」と「オフ」のメリハリが効いた健康的な生活を送らなければ、仕事に情熱を注ぐことはできません。時間外勤務を削減するため、当社では勤怠管理体制の強化、週1回の「NO残業DAY」の実施、時間外勤務削減のプログラム化などを積極的に行っています。オーバーワーク気味の従業員に対しては産業医を交えての指導、上長への指導を行い、2015年度は時間外労働時間の3%削減を達成しました。さらに2013年から始まった土日を絡めた有休消化の

「マイホリデー政策」を強化し、2015年度は有休取得率が54.6%となるなど、いっそうの定着を図ることに成功しました。また次世代法および女性活躍推進法のもととめることにより、従業員のワークライフバランスの実践のために「一般事業主行動計画」を策定しました。これにもとづく子育て中の女性従業員への定期ヒアリングの実施率は100%を達成しました。

「心とからだの健康相談室」で心身の不調を早期発見し健やかに働くことを支援

従業員がつねに自分のもつ実力をフルに発揮できるよう、当社では心身の健康管理と病気予防・早期発見に全力を注いでいます。オーバーワーク気味の従業員にヒアリングを実施し、心身の不調を早期発見して問題点を改善するため、「心とからだの健康相談室」を開設。全国どこからでも、何時でも産業医や保険師に相談できる体制を整えた結果、健康相談などで産業医の指導を受

けた従業員は107名を数えました。また、2015年度はメンタルヘルスマネジメントの強化としてカウンセラーによる研修を実施。この結果、健康診断の受診率は4年連続で100%を記録しています。「心とからだの健康相談室」を実施することで、当社におけるうつ罹患者は、従業員が増えているにもかかわらず減少という成果をあげることができました。

OPEN

社会に開かれた経営とコーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンス体制

ゴールドウイングループは、公正かつ効率的な企業経営の実現と、激変する経営環境へのスピーディな対応を目的として、コーポレート・ガバナンスの充実を、経営の最優先課題としております。

取締役の職務責任を明確にするために、その任期を1年と定めています。取締役会は原則として月1回の頻度で開催されますが、必要に応じて不定期でも開催されます。

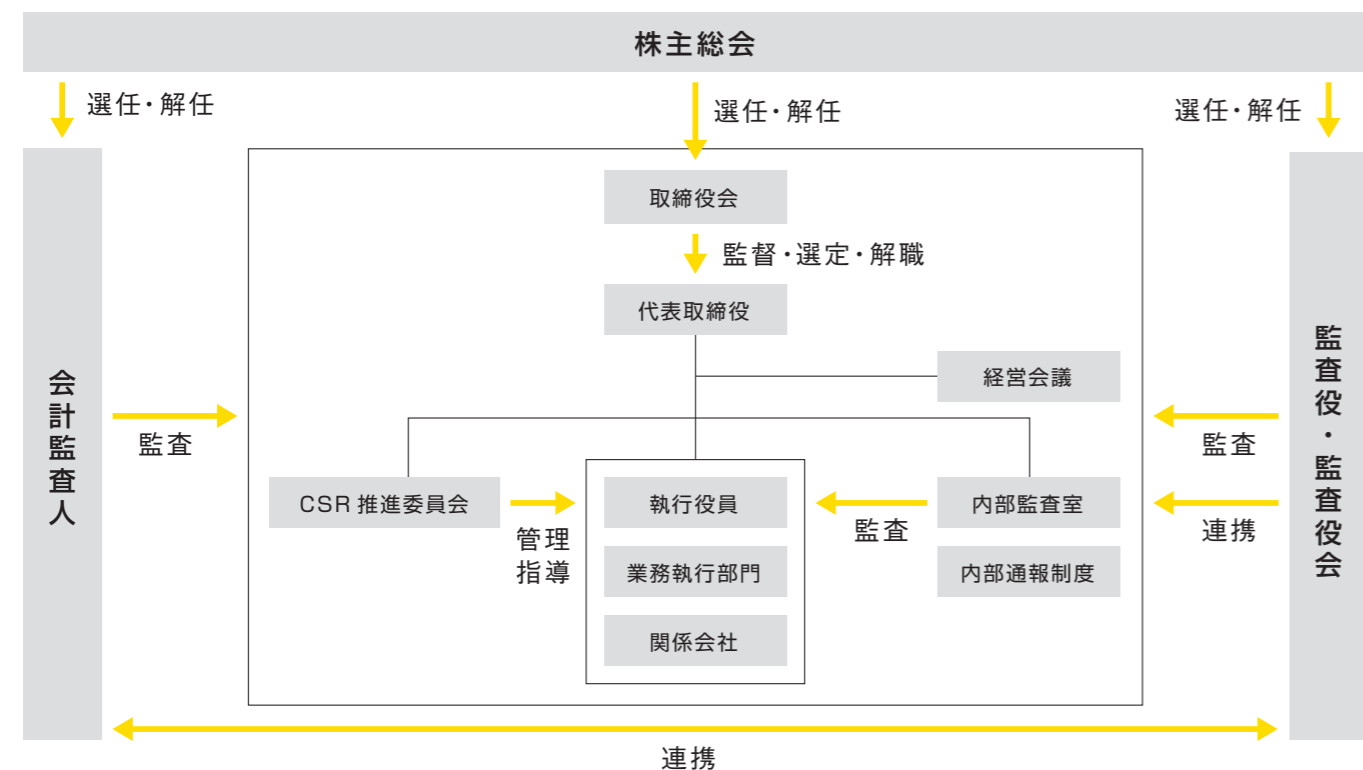
取締役会では法令で定められた事項および重要事項の決定を行うとともに、業務の執行状況を監督し、その進捗報告を実施いたします。なお、取締役10名のうち、2名は社外取締役であります。

取締役会が任命する執行役員は各々の領域で委譲された権限のもと、取締役会が決定する経営戦略にもとづき業務を執行します。取締役と常勤監査役、執行役員で構成される経営会議は、事業執行に関する重要事項などを審議決定するために、原則として月1回開催されます。

監査役会は4名で構成され、うち3名は社外監査役です。監査役は取締役会で意見を述べ、取締役の業務執行状況の監督を行うことによって、健全な経営と社会的信用の向上に努めます。

内部監査を担当する内部監査室は、他の業務執行組織から独立しています。その客観的な立場より、法令および社内規程の遵守状況の確認を行うとともに、業務と経営効率の改善/向上、内部統制システムの運用状況のチェックを行い、その結果を代表取締役、業務執行取締役および常勤監査役に報告します。

東京証券取引所においてコーポレートガバナンス・コードが制定され、上場規程として2015年6月1日より適用されております。当社はコーポレートガバナンス・コードの各原則を尊重し、これらを適切に実行してまいります。コーポレートガバナンス・コードへの対応状況等については、コーポレートガバナンス報告書で適時開示しております。



株主・投資家の皆さまとのかかわり

良識ある企業としての社会的責任を果たすため、当社では経営の公開性をよりいっそう高め、内部統制やコンプライアンスの遵守を通じ、公正で効率的な企業経営を実現してまいります。

内部統制システム～業務の適正を確保するための体制

当社は経営方針、タグライン「SPORTSFIRST:スポーツ・ファースト」、および行動規範に示される経営戦略ミッションをゴールドウイングループ全従業員によって具現化するために、適切な組織の構築、規程・ルールの制定、情報の伝達および業務執行のモニタリングを行い内部統制システムを整備・維持しております。また、内部統制システムは適宜見直し、改善を行い、適法かつ効率的に業務を執行する体制の確立を図っております。

内部統制システムの基本方針

<http://www.goldwin.co.jp/corporate/info/csr/open#section-C>

企業行動規範・従業員行動基準

<http://www.goldwin.co.jp/corporate/info/csr/open#section-E>

コンプライアンス体制について

当社およびグループ会社では、内部通報制度の運用や、社外取締役・社外監査役が取締役会および監査役会において独立かつ客観的な立場から意見を述べることで、職務執行の適法性・妥当性を確保しコンプライアンス体制を構築しております。また全従業員を対象とする「コンプライアンス研修」を毎年実施(2015年度の実施回数は42回、履修率88.3%)しており、かつ各種研修の際にも法令や経営理念、行動規範等の周知徹底を行い、内部監査

や内部統制評価を通じて、各拠点で業務手順やマニュアルの遵守状況について確認を行っております。全従業員に内部通報制度の仕組みや行動規範・行動基準等行動の指針となる携帯用の「コンプライアンスカード」を配布して常時携帯するよう指導しているほか、メールマガジン「コンプラマガジン」を定期的に発行し、従業員のコンプライアンス意識向上・啓蒙に努めました。



会社情報

- 株式会社ゴールドウィン
GOLDWIN INC.
- 東京本社
〒150-8517 東京都渋谷区松濤
2-20-6
TEL 03-3481-7201(代表)
- 本店
〒932-0112
富山県小矢部市清沢210
TEL 0766-61-4800(代表)
- 設立
昭和26年12月22日
- 資本金
7,079百万円
(2016年3月31日現在)
- 年商(連結ベース)
59,713百万円
- 年商(個別)
50,203百万円
- 従業員
1,528名(グループ 2,244名)
- 事業所
本店、東京本社、大阪支店、札幌
営業所、名古屋営業所、福岡営業所
(2016年3月31日現在)
- 会社概要詳細
<http://www.goldwin.co.jp/corporate/info/about>
- ホームページ
<http://www.goldwin.co.jp/>
- 決算短信等 IR 情報
<http://www.goldwin.co.jp/corporate/info/ir>

経営指針

1.強い経営

経営資源の選択と集中を強め、キャッシュ・フロー経営の視点から、経営体質を強化し企業価値を高めます。

2.速い経営

顧客ニーズの変化に俊敏に対応、商品企画から調達・販売までのプロセスを短縮化し、その運用システムを構築します。

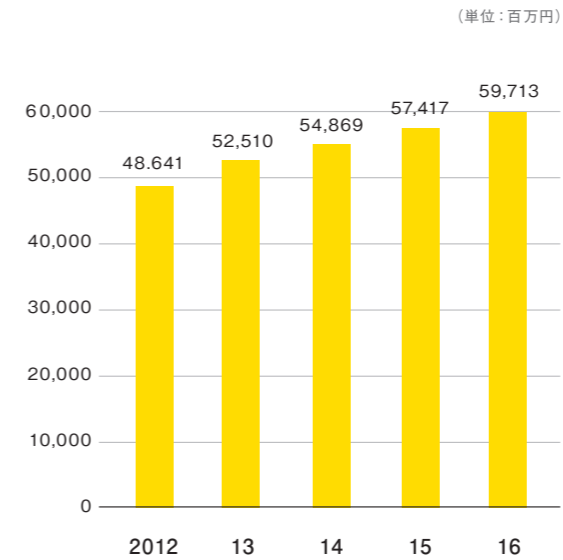
3.きれいな経営

情報開示の透明性と環境への配慮を重視し、社会的に開かれた企業を目指します。

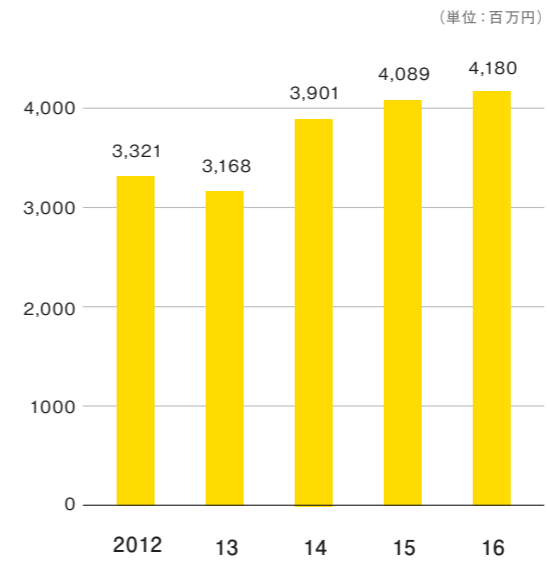
経営情報

連結

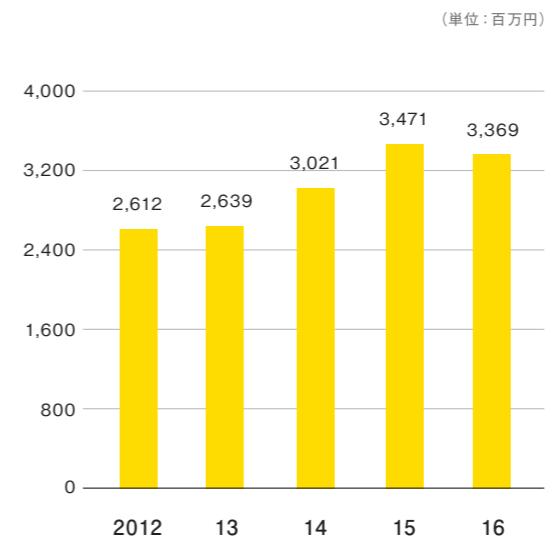
売上高



経常利益

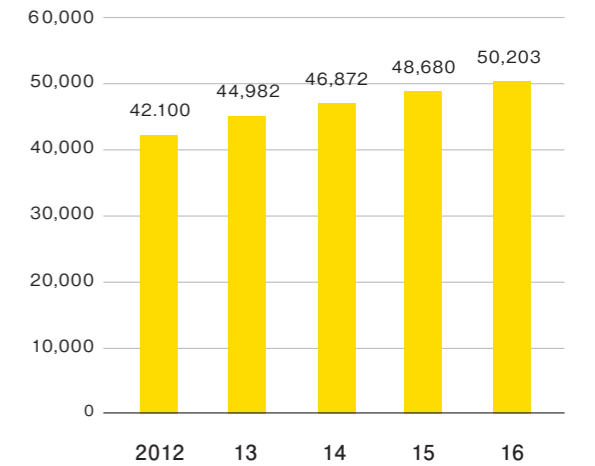


当期純損益

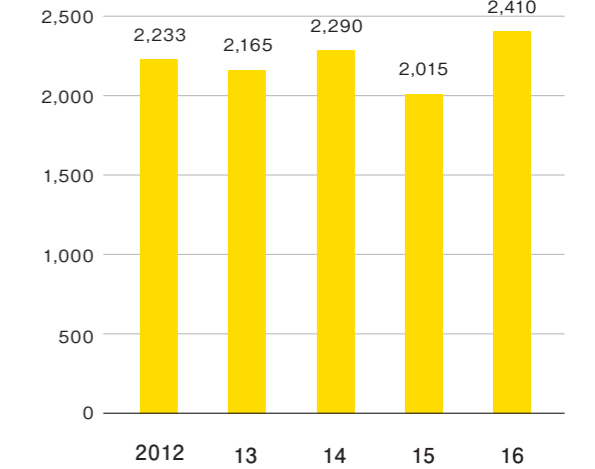


個別

(単位:百万円)



(単位:百万円)



(単位:百万円)

